

◇ 博物館だより ◇			
日本カメラ博物館 JCII Camera Museum			
〒102-0082 東京都千代田区一番町 25			
HP: http://www.jcii-cameramuseum.jp	TEL: 03-3263-7110	FAX: 03-3234-4650	E-mail: museum@jcii-cameramuseum.jp

1. 博物館の概要

日本カメラ博物館は、東京の中心地半蔵門の近く英国大使館真裏の閑静な場所にある。開館は1989(平成元)年11月29日、カメラとして日本で最初の公的な博物館であり、財団法人日本カメラ財団が運営をしている。

当博物館はカメラ、写真など光学関係のことならここを訪ればすべて解決するというのが最大の魅力である。というのは、博物館に併設して写真ギャラリーのJCII フォトサロン、写真関係書籍を多数収蔵するJCII ライブラリー、有名写真家指導による写真教室、暗室教室、貸しギャラリーのJCII クラブ 25、貸しスタジオ、講演会、撮影会、ワークショップなど多種多彩なことを実施しているからである。

これらの施設をとおしてカメラ、写真および映像などの展示や関係文献の一般公開など、写真・映像文化のハードとソフトを導入し、関係業界とカメラユーザーなどの総合的発展に寄与する業務に力を入れている。

2. 展示品の概要

主力となる博物館の目玉は、日本のカメラの発展の歴史がわかる系統的なカメラを所蔵していることである。世界に多数のカメラ博物館はあるが日本のカメラの歴史を20世紀の初めまでさかのぼって見ることができるのは当博物館のみである。運営母体である財団法人日本カメラ財団は、1954(昭和29)年に設立され1989(平成元)年までの35年もの長い間、輸出検査法という法律によってカメラなどの検査を行い、輸出カメラを一定水準以上の品質に保って、国産カメラの輸出信用を確立する使命を十分に果たし、日本製カメラの進歩、発展に多大の貢献をした。

1969(昭和44)年この財団の創立15周年の記念事業として日本のカメラの発展を永く世にとどめるため「日本の歴史的カメラの選定および収集」にとりかかった。中立的立場にある専門家で構成される「歴史的カメラ審査委員会」を発足させ、以来、毎年同委員会を開催し日本のカメラの技術的意義のあるカメラの選定審議を重ね、その結果として現在選定機種は、770機種となっている。

選定第一号機種は、1903(明治36)年に小西本店から発売された、名刺判の乾板を使用する木製革張りのボックスカメラ「チェリー手提暗函」である。現在このカメラを世界中探しているが、発見されていない。当博物館に陳列してあるものは、残

念ながら1984(昭和59)年に小西六(現コニカミノルタ)が20台だけ昔の設計図をもとに作成したレプリカである。最近では、デジタルカメラも選定対象になっている。

選定されたカメラは、約300台が常設展示され、展示ケースを順に見ていくと、日本のカメラの技術の歴史を辿れる技術的に意義のあるカメラが次々と現れてくる。オートフォーカスカメラはこれが最初のカメラだったのかと納得がいくように説明してある。

そのほか外国のカメラも充実している。超目玉はジルー・ダゲレオタイプ・カメラで、これは世界最初の市販カメラである。その発売日は、ダゲレオタイプの発明がフランス政府によって公開された1839(天保10)年8月19日であった。世界中で確認されているのは7台にすぎない。日本では当館だけが所有している。常設なのでいつでも見ることができる。

珍しいライカも、「O」型、A型、B型、C型、A型ラクサス、MP、MP-2等揃っている。とくに「O」型は、試作機として1923(大正12)年にボディNo.100から129まで30台製造された。当館のものはNo.110である。現在確認されているのは17台である。

当館のカメラの収蔵数は、1万台を超えている。世界に1台とか2台しかないという珍品カメラも数多く所有しており、年に2～3回の特別展において公開している。

当博物館は併設のJCIIフォトサロンにおいて、1ヶ月単位で写真の企画展を開いている。この企画展は黑白写真にこだわり、100年後200年後を見据えて現代の写真家を後世に伝承すべく、作品展終了後その写真は永久コレクションとしている。

古写真のコレクションも多数あり幕末から明治期までの写真や絵葉書などは、20,000枚を超えている。古写真の企画展示も毎年1回2月に同フォトサロンにおいて開催しており、数多くのファンがいる。

さらに、写真関係の図書館JCIIライブラリーもあり、蔵書数約30,000冊、雑誌約1,100種を収蔵している。閉架式の図書館であるが、閲覧室には検索用のパソコンが備えられ閲覧したい図書は、すぐ検索でき連絡を受け次第司書が閲覧室に届けるシステムになっている。

その他、生涯教育の一環としてプロの著名な写真家による写真教室も開催している。13教室あり初級から上級まで、生徒数は約300名熱心に受講している。最近ではデジタルカメ

ラの教室も始まった。黑白写真に興味のある方には、暗室教室も行っている。

ワークショップも盛んで、小中学生を対象とした針穴写真教室や黑白写真教室等年に5~6回開催しており、子どもたちから親たちまで大好評である。

このように日本カメラ博物館は、「カメラ・写真」をテーマとして追い求め新たな展開に対応するべく活動を続けている。



図1 日本カメラ博物館外観



図2 日本カメラ博物館内観

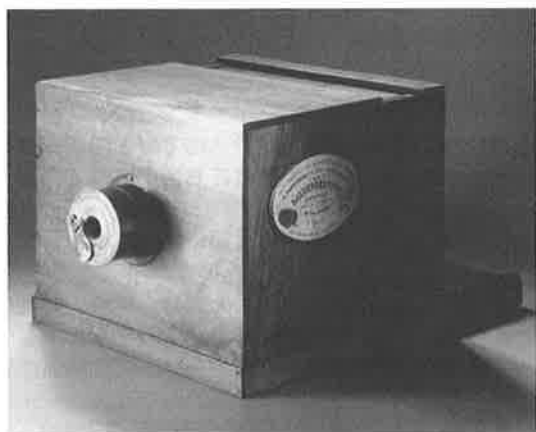


図3 世界最初の市販カメラ
ジルー・ダグレオタイプ・カメラ



図4 ライカ“O”型
ボディナンバー110



図5 堆錦カメラ・安政から文久頃の日本製



図6 エスコペット
1888年 スイス製の珍品カメラ

■ 利用案内

所在地: 〒102-0082 東京都千代田区一番町25

TEL 03-3263-7110 FAX 03-3234-4650

開館時間: 10時~17時

休館日: 月曜日(祝日の場合翌日), 年末年始, 展示替で休館の場合あり

入館料: 大人 300円(団体20名様以上 200円),
小・中学生無料

駐車場: なし

交通: 地下鉄半蔵門線半蔵門駅下車④番出口から
徒歩2分

(文責 谷野 啓)